

KOTARO NUKAGA

KOTARO NUKAGA は、11月7日(木)より上海で開催される国際的なアートフェア、West Bund Art & Design に出展いたします。

ダイナミックに変化するアジアのアートシーンにおいて、そのトレンドを牽引する都市上海では近年多くの美術館やギャラリーがオープンし、重要な展覧会が開催されております。本フェアには世界中から100を超える有力ギャラリーが参加し、アジアはもとより欧米のコレクターも多く訪れます。

KOTARO NUKAGA ではニューヨークをベースに活動するアーティスト、松山智一の約20点に及び最新作品を個展形式で展示いたします。

25歳でニューヨークに渡り、アーティストとしての活動をゼロからスタートさせた松山は、現在ではニューヨークで最も有名な日本人アーティストとして注目されている存在です。2019年9月には、キース・ヘリングやバンクシーを始め、名だたるアーティストが描いてきたニューヨークの Bowery Wall に新たな壁画を完成させました。壁画制作の様子はテレビ番組「情熱大陸」で紹介され、日本でも注目が高まっています。

最先端のアートが生まれる街で、独学でキャリアを形成してきた松山が辿り着いたのは、オリジナリティを「引用」して「編集」することで新たなオリジナリティを生み出すという方法でした。その作品は、浮世絵や大和絵といった日本の伝統絵画から、東洋の民族衣装や西洋の近代絵画、現代のファッション誌に掲載されているモデルやインテリア、インターネット上にあるピザの画像まで、古今東西あらゆるところから切り取られたヴィジュアルイメージで構成されています。

さまざまな文化が混ざり合った曖昧なところにこそ、現代に生きる私たちのアイデンティティがあり、そこから新しい文化が生まれると松山は考えます。音楽における、サンプリング・リミックス、そしてファッションにおけるハイブランドとストリートカルチャーのコラボレーションなど、今や文化は越境し、お互いの領域を侵犯し、そして形成されていくのです。松山の絵画では決して混ざり合わないように見える要素をひとつの絵に集約し、マッシュアップ的に画面を作り上げていくことで、情報が溢れた現代が浮かび上がります。そうすることで、私たちが生きている時代の感覚を表現しているのです。

本フェアでは、抽象・具象の大型ペインティングを中心に、彫刻作品も合わせて展示いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



Sing It Again Sweet Sunshine
Acrylic and mixed media on canvas
2019
254.0 x 194.3 cm

■West Bund Art & Design

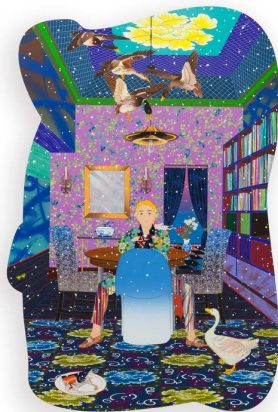
開催日程： 2019年11月7日(木) - 11月10日(日)

会場： West Bund Art Center, 2555 Long Teng Avenue, Xuhui District, Shanghai

公式サイト：<http://westbundshanghai.com/>

ブース No. : N309

■展示作品一例



New Life Bonus Track
Acrylic and mixed media on canvas
2019
254.0 x 170.2 cm



The Peak Shine Dawn
Acrylic and mixed media on canvas
2019
231.4 x 152.4 cm



Mild Rivers My Generations
Acrylic and mixed media on canvas
2019
152.4 cm diameter



■アーティスト概要

松山 智一

1976年 岐阜県生まれ ニューヨーク在住

上智大学卒業後 2002 年渡米。NY Pratt Institute を首席で卒業。

ペインティングを中心に彫刻やインスタレーションも手がける。作品には、東洋と西洋、古代と現代、具象と抽象といった両極の要素が見られ、これは日本とアメリカの両国で育った松山自身の経験が反映されている。また、江戸時代や明治時代の日本美術、古代ギリシャやローマ帝国の彫刻、ルネッサンス期の絵画、戦後のコンテンポラリーアートなど、様々なサブジェクトから影響を受けている。これまでにニューヨーク、ワシントン D.C.、サンフランシスコ、ロスアンゼルス等の全米主要都市、日本、ドバイ、香港、台北、ルクセンブルグなど、世界各地のギャラリー、美術館、大学施設等にて個展・展覧会を多数開催。また、Microsoft コレクション、ドバイ酋長国の王室コレクション、サンフランシスコのアジアンミュージアム、アメリカのホテルグループ Andre Balazs や Cosmopolitan Hotel Group 等に松山の作品が多数収蔵されている。現在はブルックリングリーンポイントにスタジオを構え、活動を展開している。

■最近のプロジェクト

Bowery Mural, New York (2019)

NY の Bowery Street と Houston Street が交わる角に位置する Bowery Wall。キース・ヘリングやバンクシーを始め、名だたるアーティストが描き続けてきた場所に、2019年9月24日、新たな大作が完成。松山と10名のアシスタントたちが14日間かけて、120平方メートル超の巨大なスペースを生まれ変わせた。2008年、Goldman Properties のトニー・ゴールドマンと、ギャラリスト/キュレーターとして知られるジェフリー・ダイチによって、壁画プロジェクトが始動。世界中から優れたストリートアーティストが選ばれ、定期的に壁画が更新されていくこととなる。2009年ブラジル出身の双子アーティスト OSGEMEOS から、現在の松山に至るまで、バリー・マッギー(アメリカ)、ケニー・シャーフ(アメリカ)、JR(フランス)、バンクシー(イギリス)ら、30組余りのアーティストが参加。現在ではアートのスポットとして知られ、ストリートアートの非常に重要な発信地となっている。



Bowery Mural, 2019 ©Matsuyama Studio

Shinjuku Station Public Art, Tokyo (2020)

NY の Bowery Mural を完成させた松山が次に手がけるパブリックアートの舞台は、世界有数のターミナルステーションとして連日賑わいを見せる東京・新宿駅。316ピースのステンレスを組み合わせた高さ8mに及び彫刻が、花模様で彩られた地面の上に出現する予定だ。古今東西のイメージを引用し、さまざまな要素が混ざり合う現代の曖昧な感覚を表現してきた松山。今回は、ビジネスマンや観光客で混雑する新宿駅に、自然と季節感を大切に日本の伝統的な「花鳥風月」の美意識を組み合わせるといふ。東京2020オリンピック・パラリンピックの年に公開されるこのインスタレーションは、東京の新たなランドマークとなるだろう。

■About KOTARO NUKAGA

KOTARO NUKAGA は東京・天王洲のギャラリー集合ビル TERRADA Art Complex 内に 2018 年秋に開廊。一般化もしくは常識化された物事について、アートを通して改めて考えるきっかけを与えること、もしくはアートそのもののあり方について考えることをギャラリーの役割と考え、国内外の先鋭的なアーティストを紹介している。

<https://www.kotaronukaga.com>

■お問合せ先

KOTARO NUKAGA 担当：稲葉、倉智

EMAIL : info@kotaronukaga.com URL : www.kotaronukaga.com TEL : +81(0)3 6433 1247 FAX : +81(0)3 6433 1257

Instagram : https://www.instagram.com/kotaro_nukaga/

Facebook : <https://www.facebook.com/kotaronukaga.tennoz/>